

理運鑑定室

お悩み個別鑑定書

航平さん | 婚活・結婚

会える。話せる。
でも、なぜか恋愛にならない。

結婚相手を真剣に探すほど、
恋愛の入口で「判断」が先に動いてしまう理由を読み解く。

今回のテーマ

「見極める力」を弱めず、恋愛が育つ順番へ組み替える。

西洋占星術 × 四柱推命 × 姓名判断 × 本人申告 MBTI × 2年 Timing

あなたからいただいたご相談

相談文は要約せず、いただいた内容をそのまま掲載しています。

結婚したいのに、会えば会うほど恋愛にならなくなります。

婚活を始めて2年ほどです。マッチングアプリや紹介で会うところまではいくのですが、1回目か2回目の食事ですべて終わることがほとんどです。自分では失礼なことを言っているつもりはありません。むしろ相手をちゃんと知ろうとして、仕事、家族との関係、住む場所、子どもを希望するか、お金の考え方などを早めに聞いています。

ただ、友人には「確認事項が多すぎて面接みたい」と言われました。

自分でも思い当たる場所があります。誰かを好きになる前に、「結婚相手として問題がないか」を先に考えています。条件が一つ引っかかると、その人の良いところより、その違いの方が気になってしまいます。

一方で、本当に好意を持った相手には逆に踏み込めません。誘って断られたら関係が終わる気がして、次の約束を曖昧にしています。相手から好意を示されても、「まだ2回しか会っていないのに、本当に自分のことを分かっているのか」と疑ってしまいます。

仕事では判断が早い方です。でも恋愛だけは、確信が持てるまで動けません。

できれば1〜2年のうちに結婚につながる相手と出会いたいです。自分はどこで恋愛を止めてしまうのか、どんな女性なら関係を育てやすいのか、今の婚活で何を变えるべきなのかを知りたいです。

この相談で確認する3つの焦点

① 条件確認が早くなる仕組み ② 好意が強い相手ほど行動が遅くなる仕組み ③ 1〜2年で婚活を進めるための具体的な順序。
ここから先は、相談文に合わせて結論を作るのではなく、計算済みデータを先に読んでから相談内容へ照合します。

QUESTIONS & PROFILE

今回、この鑑定で答えること

1. 婚活で関係が2回目前後で止まりやすい自分側の反応パターンを知りたい
2. 結婚条件の確認と、相手を好きになるための時間をどう両立すればよいか知りたい
3. どのような性質・距離感の女性と関係を育てやすいか知りたい
4. 好意を持った時に慎重になりすぎる癖をどう変えればよいか知りたい
5. 今後2年で婚活を進めるなら何を優先して変えるべきか知りたい

基本情報

氏名	航平
生年月日（個人情報）	
出生時刻（個人情報）	
出生地（個人情報）	
職業	IT系企業・プロジェクトマネージャー
MBTI	INTJ-T（本人申告）
現在	婚活中・特定の交際相手なし

今回使用した鑑定領域

- 西洋占星術：出生時刻が確認済みのため、ASC・ハウスまで使用。
- 四柱推命：四柱、月令、身強身弱、干支関係を使用。格局・用神は未確定のため補完しない。
- 姓名判断：五格・81数理を補助情報として使用。
- MBTI：本人申告 INTJ-T を、行動や会話の翻訳補助としてのみ使用。
- Timing：2026年9月24日～2028年9月24日の計算済みデータを使用。

このレポートの読み方

前半で人物像と問題の仕組みを整理し、中盤で相手選び・質問・デートの進め方へ具体化します。後半は2年Timingと5つの質問への最終回答、最後に計算根拠をまとめます。

まず、航平さんはどんな人か

相談内容へ入る前に、計算結果だけから人物像の土台を作ります。

航平さんは、「考えてから動く人」ではありません。
正確には、生活に関わることで“納得できる構造”を作ってから動く人です。

仕事では判断が早いのに、恋愛では慎重になる。この差は矛盾ではありません。仕事には判断材料と役割が用意されていますが、恋愛では相手の気持ちや将来像が最初から確定していません。航平さんは、その曖昧さを「もう少し情報があれば判断できる問題」に変えようとしやすい人です。

現実性が強い 太陽は牡牛座4ハウス、ASCは山羊座。維持・安定・具体化と、構造・責任・持続が重なります。恋愛を「生活として成立するか」で考える力が強い。	会話で惹かれる 水星・金星・木星が双子座5ハウス。情報交換、比較、言語化が、恋愛・喜び・自己表現の領域に集まります。会話の往復で相手への興味が育ちやすい。
一対一で行動が慎重 火星は蟹座7ハウス。対人関係の場面で、行動が保護・所属・情緒的反応と結びつきやすい。相手を傷つけないことまで考えてから動きやすい。	納得後は粘れる 火星-冥王星ライン、土星-冥王星セクスタイルがあり、決めた後の集中・再構築・継続は弱くありません。問題は「決めた後」ではなく「決める前」です。

外から見える航平さん / 内側で起きやすいこと

外から見やすい面	内側で起きやすい面
落ち着いていて、現実的に判断する	重要な相手ほど、判断材料を増やして確信を作ろうとする
質問が具体的で、相手をよく知ろうとする	情報が増えるほど、違いも早く見えて評価が始まる
仕事では決断が早い	恋愛では相手の反応が確定しないため、行動直前で慎重さが増える

この相談を解く鍵

理運の鑑定基準

航平さんの婚活で起きているのは「慎重すぎる性格」ではありません。好意・会話・将来条件・安全確認を、関係が育つ前から同時に処理しようとしていることです。

鑑定の要点

見極める力を弱める必要はありません。変えるべきなのは、見極める「順番」です。1〜2回目は「結婚できるか」ではなく、「もう一度知りたいか」を判断する。

特に強く出ている5つのポイント

- 水星-金星コンジャンクション 1.84° ：考えること、言葉にすること、好み・親和性が近い。
- 火星-海王星オポジション 0.73° ：行動したい気持ちと、曖昧さ・理想・相手への配慮の間で揺れやすい。
- 火星-土星オポジション 2.08° ：進める力と、失敗回避・責任・制御が同時に働く。
- 土星-冥王星セクスタイル 0.02° ：一度課題を構造化すると、長期的に立て直せる力が強い。
- 四柱推命は丁火日主・身強。自己側の機能を使えるため、「動けない人」ではなく使い方の問題として読む。

読みたいところから戻れる目次

PART	内容	頁
PART 2	なぜ恋愛が止まりやすいのか	6-8
PART 3	相手選びと見極め方	9-10
PART 4	実際の婚活をどう変えるか	10-12
PART 6	2026-2028 Timing	13-14
PART 7-8	場面別判断・最終回答	15-16
APPENDIX	今回の算出根拠	17-18

PART 2

なぜ今の問題が起きやすいのか

航平さんの中で起きている「4段階」

相談文を見る前に計算結果から組み立てると、婚活では次の連鎖が起きやすい人物像です。

段階	内側で起きること	婚活で見えやすい行動
1 観察	水星・双子座的に情報を集める	仕事、家族、生活、価値観を幅広く聞く
2 比較	複数の情報を並べ、違いを認識する	条件差や小さな違和感が早く見える
3 現実判定	牡牛座 4H+山羊座 ASC 的に持続性を確認	「結婚生活として成立するか」を前倒して検討
4 行動停止	火星に土星・海王星の強い緊張	好意があるほど「今動いてよい根拠」を探し続ける

この連鎖の特徴は、どの段階も単独では長所だということです。相手を知る、違いに気づく、将来を現実を考える、相手への影響を考えて行動する。どれも結婚生活では必要です。

ただし、それを1回目・2回目の食事に全部持ち込むと、関係が育つ速度より判断の速度が上回ります。結果として、航平さんは「慎重だから進めない」のではなく、「まだ育っていない関係に完成形の判定をかける」ために進みにくくなります。

この婚活の修正点は、判断力ではなく“処理順序”です。

PART 2

相談との照合

なぜ「面接みたい」と見えやすいのか

航平さんは会話が苦手な人ではありません。むしろ、水星・金星・木星が5ハウスにあるため、会話、興味、情報交換は恋愛に入る重要な入口です。ここは今回の強みです。

ただ、水星と金星が近い人は「話して相手を知ること」と「好き嫌い・価値判断」が近づきやすい。さらに太陽4ハウスと山羊座ASCの現実性が入ることで、会話で得た情報がすぐに「将来の生活として合格か」へ変換されやすくなります。

面接化の正体

質問数が多いこと自体ではありません。

「相手を知る質問」と「結婚可否を判定する質問」が、初期段階で混ざっていることです。

たとえば「仕事は今後も続ける予定ですか？」は重要な質問です。ただ、初対面で連続すると、相手は“自分という人”ではなく“条件表”を採点されている感覚になりやすい。航平さん側では真剣さでも、相手側では評価されている緊張へ変わります。

逆に「仕事で好きなところってどこですか？」「休日に時間が空いたら何してます？」のような問いは、同じ相手情報を得ながら、その人の考え方・テンポ・感情まで見えます。航平さんには、質問を減らすより「情報が一つに決まりすぎない質問」に変える方が向いています。

本当に好意を持つほど、踏み込めなくなる理由

今回の相談で最も強く使う根拠は、火星への二つのオポジションです。火星は行動・欲求・主張・推進力。航平さんの火星は7ハウスで、一対一の関係で使われやすい位置にあります。

火星 × 海王星 | 0.73°

動きたい一方で、相手の気持ちが曖昧だと行動の根拠がぼやけやすい。理想化や「相手に迷惑では？」という境界確認が増え、行動前に考える時間が伸びます。

火星 × 土星 | 2.08°

進める力に、制限・責任・時間・失敗回避が向かい合います。「誘いたい」の直後に「早くないか」「断られたら終わる」が入りやすい。

ここだけ見ると動きにくさが強く見えますが、同時に火星-冥王星トライン2.07°、土星-冥王星セクスタイル0.02°があります。航平さんは、決めた後の粘りや構造修正はかなり使いやすい。

だから対策は「もっと勇気を出す」ではない

必要なのは、行動するかどうかを感情の確信に任せず、事前ルールにすることです。

例：「また会いたいと思ったら48時間以内に次回を提案する」。

こうすると、火星の行動を土星のルールで止めるのではなく、土星を「行動ルールを作る力」として使い直せます。

ブレーキが強くなりやすい3条件

- 相手の反応が曖昧で、好意があるか読めない時。
- 「この人を逃したくない」と重要度が上がった時。
- 一度の誘いや発言が、関係全体を決めるように感じた時。

逆に言えば、関係を一回の勝負にしないことが重要です。誘いは最終決定ではなく次の一回を作る行動、質問は合否判定ではなく理解を一段進める行動、と定義し直すほどブレーキは扱いやすくなります。

この配置の長所側

慎重さがあるため、勢いだけで約束したり、相手の都合を無視して進めたりしにくい。結婚後には「考えてから責任を持つ力」として使えます。婚活では、その長所を初期から使いすぎないことが課題です。

「本当に僕のことを分かっている？」が起きる時

相手から好意を示された時に疑うのは、単に自己評価が低いからとは読めません。航平さんは、好意そのものより「その好意にどれくらい根拠があるか」を確認したくなりやすい人です。

月は天秤座9ハウス。情緒反応に、比較・調整・公平さと、意味づけ・世界観の領域が入ります。感情を感じた瞬間にそのまま乗るより、「どういう意味なのか」「相手は何を見てそう思ったのか」を一段上から整理しやすい。

そこへ火星-海王星の緊張が加わるため、相手の好意がまだ曖昧な段階ほど「本当に？」「勘違いでは？」という確認欲求が出やすい。

受け取り方を変える

相手の「また会いたい」は、あなたを完全に理解した証明ではありません。

“今の段階でもう一度会いたい”という、その時点で十分に意味のある情報です。

航平さん自身も同じです。「好きだと確信した」まで待たず、「話していて楽しかった」「また会いたい」「その考え方をもっと聞きたい」と、今確かな範囲だけを言葉にする。初期恋愛では、この小さな意思表示の方が関係を前へ進めます。

好意を受け取る時の3段階

1. 事実：相手が実際に言った・したことだけを確認する。
2. 解釈：「本気か？」「まだ分かっていない」は保留し、意味を決めすぎない。
3. 次行動：自分も会いたいなら、その意思だけを返す。

この順番にすると、相手の好意を「保証」へ変換せずに受け取れます。航平さんは理解してから好きになる力が強いので、初期好意を完成品として扱わないことが大切です。

恋愛の初期に必要なのは、確信の表明ではなく「次へ進みたい意思」の表明です。

航平さんが関係を育てやすい女性

「何座の女性が合う」とは決めません。航平さんの出生図・四柱・姓名判断から、関係が育ちやすい条件を生活レベルへ翻訳します。

会話が往復する 質問に答えるだけでなく、相手からも質問や話題が返ってくる人。航平さんは会話で興味が育つため、相互性が重要です。	好意を曖昧にしすぎない 「また会いたい」「次はここへ行きたい」など、小さな意思表示ができる人。曖昧さが長いほど航平さん側の確認作業が増えます。
生活を現実的に話せる 結婚を感情だけでなく、仕事・住まい・お金・家族との距離まで話せる人。これは航平さんの現実性と噛み合います。	違いを相談できる 全部同じ人ではなく、「違うね。どうする？」を話せる人。航平さんには一致率より調整力が重要です。

姓名判断では、外格8に「勤勉・堅実」、人格20に「空虚・内省」という補助テーマがあります。対外的にはきちんと対応できても、内側では考えを深めすぎる側面を補助的に示します。ここでも、相手側が意思や気持ちを言語化できることが助けになります。

相手選びの重点

条件が全部同じ女性ではなく、
 ① 会話が返る ② 意思表示がある ③ 現実を話せる ④ 違いを調整できる。
 この4つを優先してください。

難しくなりやすい相手の条件

- 好意や予定をほとんど言葉にせず、常に察してもらうことを求める。
 - 次の約束や関係の位置づけを長期間曖昧にし続ける。
 - 違いが出た時に相談ではなく、勝ち負け・正誤だけで決めようとする。
 - 質問には答えるが、航平さん自身を知ろうとする動きがほとんどない。
- これは相手の良し悪しではありません。航平さんの確認作業を増ややすく、火星・土星・海王星のブレーキを強めやすい条件です。

まず「赤・黄・緑」で判断を分ける

今の婚活では、条件が一つ引っかった時、その違いが全体評価に広がりやすい。そこで、違和感を一種類に扱わない仕組みを作ります。

色	何を入れるか	対応
赤	安全・尊重・重大な結婚条件。例：結婚意思がない、重大な価値観の不一致、約束を継続的に破る	早めに判断してよい
黄	趣味、会話テンポ、休日の過ごし方、細かな家事感覚、連絡頻度など	3～5回会うまで保留
緑	自然に笑える、質問が返る、次の予定を作ろうとする、違いを話しても空気が硬くならない	関係を育てる材料として記録

この分類は、基準を下げるためではありません。航平さんが得意な「判定」を、判定してよい時期まで待たせるための仕組みです。

一次判定は一つだけ

1～2回目の終了時に決めるのは「この人と結婚できるか」ではなく、「この人について、もう一つ知りたいことがあるか」です。

黄項目を赤へ昇格させない。逆に、赤項目を「せっかく会えたから」と無理に保留しない。この二つを守るだけでも、婚活の判断がかなり安定します。

黄項目を見直す3チェック

確認	YES なら	NO なら
話し合える？	違いがあっても保留継続	重要度が高ければ赤候補へ
繰り返す？	単発ではなくパターンかを見る	1回だけなら判断材料を増やす
生活へ大きく影響する？	3～5回目で具体化して確認	好みの違いとして扱う

航平さん向けの判断基準

「違いがあるか」より、「違いを話した時に関係がどう動くか」を見てください。結婚生活では、一致率より調整力の方が長く使える情報です。

PART 4

1回目・2回目・3回目

デートごとに「判断の役割」を変える

回	目的	確認すること	まだ決めないこと
1回目	安心してもう一度会えるか	敬意 / 会話の往復 / 一緒にいる時の疲れにくさ	結婚生活の完成形、細かな家計、親との距離の詳細
2回目	興味が育つか	仕事観 / 休日 / 大切にしていること / 恋愛のテンポ	違い一つを理由に相性全体を決める
3～5回目	主要条件を確認	結婚意向 / 子ども / 住む場所 / 働き方 / 家族との距離	完全一致を求める、細部まで一晩で決める

航平さんの場合、2回目の終わりが最大の修正ポイントです。好意がある時ほど、相手の反応を確認してから誘いたくなります。しかし、それでは相手側も「興味が無いのかな」と判断する余地が生まれます。

2回目の終わりに使う言葉

「今日、前よりもう少し〇〇さんのことを知れた気がします。僕はまた会いたいです。よかったら次もご飯行きませんか？」

この言い方なら、相手の好意を先に証明せず、自分の意思だけを明確にできます。火星-土星のブレーキを、行動ルールで越える方法です。

断られた場合は「自分の判断が間違っていた」と扱わないこと。自分が進みたいと思ったことと、相手と同じ選択をしなかったことは別です。婚活では、この二つを分けられるほど次へ進みやすくなります。

デート後に残す4行メモ

項目	書く内容
緑	自然に良かったことを1つ
黄	気になったが、まだ保留することを1つ
赤	本当に重大なら1つ。なければ「なし」
次	もう一つ知りたいことを1つ

点数化は不要です。特に黄を何個も数えると、比較する力が強い航平さんは違和感の総量だけで判断しやすくなります。文章で1つずつ残す方が、実際の相手を見失いにくくなります。

質問を減らさず、「人が見える質問」に変える

テーマ	面接化しやすい聞き方	関係が育つ聞き方
仕事	今後も今の仕事を続けますか？	仕事で「自分に合ってる」と思うのはどんな時ですか？
家族	親とはどれくらい会いますか？	家族とはどんな距離感が一番楽ですか？
生活	家事分担はどう考えていますか？	一緒に暮らすなら、どんな毎日が居心地よさそうですか？
お金	貯金していますか？	ここにはお金を使いたい、というものがありますか？
子ども	子どもは欲しいですか？	将来の家族について、今どんなイメージを持っていますか？
住まい	結婚したらどこに住みたいですか？	暮らす場所を選ぶなら、何を一番大事にしたいですか？

質問をしたら、航平さん自身の答えも同じ程度返してください。情報を取りにいくだけでなく、自分も開示することで「審査」から「交換」へ変わります。

会話の 1:1 ルール

一つ聞いたら、自分の答えも一つ返す。

例：「僕は休日は一人でゆっくりする日も必要なんですけど、〇〇さんはどうですか？」

質問の前に自分を少し出すと、相手は答えやすくなります。

30日でやること

1. 必須条件を3項目に絞り、それ以外は会ってから判断する。
2. 初回の将来条件質問は最大1テーマ。
3. デート後はNG数ではなく「もう一つ知りたいこと」を一行記録。
4. また会いたければ48時間以内に次回を提案。

90日で見ること

- 3回目へ進める関係が増えたか。
- 質問が一方通行ではなくなったか。
- 黄項目を赤扱いしていないか。
- 相手の好意の証明を待たず、自分の意思を出せるようになったか。

PART 6

2026 年 9 月～2028 年 9 月 Timing

まず 2 年間でどう使うか

この 2 年間は、「結婚できる年」を一つ当てる読み方ではなく、婚活の進め方をどこで変え、どこで広げ、どこで定着させるかを見る方が計算結果に合っています。

期間	前面化しやすいテーマ	婚活での使い方
2026 秋～2027 春	責任・制限・再構築	結果を急ぐより、判断ルールと行動習慣を作り直す
2027 春～夏	思考・価値観の刷新	質問、誘い方、出会い方を意識的に変更
2027 夏～秋	拡張・経験	出会いと行動を広げる。ただし比較過多に注意
2027 冬～2028 春	関係価値の再編	理想条件を見直し、関係を育てる方法を更新
2028 夏～9 月	構造化と拡張	続く関係は生活・責任の具体化へ進める

四柱推命側では、2026 年は劫財、2027 年は比肩、2028 年は傷官です。時期テーマはそれぞれ「自主性・自己決定」「自主性・自己決定」「表現・産出・改善」。2 年間を通して、相手に選ばれるのを待つより、自分の進め方を作り、最後は言葉と行動へ出す流れへ移ります。

Timing の使い方

出会いの有無を待つのではなく、各期間で「何を変えるか」を決める。これが今回の相談への時期鑑定の使い方です。

TIMING 01

2026 年秋～2027 年春

最初は「攻める」より、詰まり方を直す

2026 年秋から 2027 年春は、土星による制限・責任・構造のテーマが複数重なります。婚活では、人数を増やすより、同じところで止まる仕組みを直す方が価値のある時期です。

- ・土星-海王星スクエア：2026 年 9 月 24 日。曖昧さと現実条件を分けて考える。
- ・土星-火星スクエア：2026 年 10 月 4 日 / 2027 年 2 月 13 日。動きたい力にブレーキがかかりやすいので、行動を事前ルール化する。
- ・土星-ASC スクエア：2026 年 10 月 11 日 / 2027 年 2 月 6 日。自己提示や対人スタイルを見直す。
- ・木星-月セクスタイル：2026 年 10 月 8 日 / 2027 年 2 月 21 日。経験から学び、見方を広げる余地がある。
- ・2026 年流年は劫財。自主性・自己決定・同輩・競争・分配がテーマ。アプリ内の比較競争に巻き込まれず、自分の基準を決める。

この時期に完成させるもの

- ・必須条件 3 つ
 - ・赤黄緑の分類
 - ・2 回目の誘い文句
 - ・デート後の記録方法
- この 4 つを仕組みにする。

婚活がうまくいっていないから基準を下げる、ではありません。基準を使う場所を変える。2026 年秋～2027 年春は、この土台作りに向いています。

やり方を変え、広げ、定着させる

2027 年は、水星・金星へ変化と再編のトランジットが重なります。会話・判断・関係の好みそのものを更新するテーマが強く、今までと同じ婚活方法続けるより、試し方を変える価値が高い時期です。

- 冥王星-水星トライン：2027 年 2 月 19 日 / 2027 年 8 月 2 日。判断の仕方を深く組み替える。
- 天王星-水星コンジャンクション：2027 年 5 月 29 日。会話・考え方・出会い方へ新しい方法を入れる。
- 天王星-金星コンジャンクション：2027 年 7 月 1 日 / 2027 年 12 月 5 日 / 2028 年 4 月 19 日。関係の好みや「心地よさ」の基準を更新する。
- 木星-ASC トライン：2027 年 9 月 14 日、木星-火星セクスタイル：2027 年 9 月 17 日。外へ出て動く量を増やす。
- 冥王星-金星トライン：2028 年 2 月 27 日 / 2028 年 7 月 25 日。関係・価値判断を深く作り直す。
- 2028 年夏以降の土星-ASC トライン：2028 年 7 月 28 日 / 2028 年 9 月 17 日。新しい対人スタイルを現実的な形へ定着させる。

2027 年は比肩、2028 年は傷官。自分で選ぶことから、言葉・表現・改善へ移る流れです。2027 年は「新しい方法を試す」、2028 年は「使える方法を磨いて現実へ落とす」という使い分けが合います。

関係が続いている相手がいる場合

2028 年は、家計・住まい・働き方・家族との距離を「合否判定」ではなく共同設計として話す。ここで初めて、航平さんの現実判断を全面的に使います。

時期別アクションマップ

期間	やること	やらないこと
2027 春～夏	質問・誘い方・出会い方を一つずつ変更	一度に全部変えて反応が分からなくなる
2027 夏～秋	出会いと行動量を広げる	候補数だけ増やして比較を深め続ける
2027 冬～2028 春	理想条件と「心地よさ」の基準を更新	昔決めた条件表を絶対視する
2028 夏～9 月	続く関係は生活設計へ進める	相手との違いを合否判定だけで処理する

まだ特定の相手がいない場合は、2027 年に試した方法のうち「3 回目へ進みやすかった方法」「自分が自然に意思表示できた方法」へ絞り込んでください。2028 年は、方法を増やすより再現性を高める使い方が合います。

次の婚活で迷った時の判断ルール

条件が一つ合わない 赤か黄かを先に分類。安全・尊重・重大条件でなければ3〜5回まで保留。「違う＝無理」ではなく「調整可能か」を見る。	相手から好意を示された 理解の深さを検証しない。「今の段階でもう一度会いたい」という情報として受け取る。
自分から誘いたい 相手の好意の確信を待たない。自分がまた会いたいなら48時間以内に提案する。	質問したくなる 事実確認だけで終わらず、「それをどう感じるか」「何が好きか」まで聞き、人が見える質問にする。
2回目で迷う 結婚可否を決めない。「もう一つ知りたいことがあるか」で3回目へ進むか決める。	3〜5回目まで進んだ ここから主要条件を確認。違いがある時は「どちらが正しいか」ではなく「どう調整するか」を話す。

航平さんは、婚活そのものに向いていないわけではありません。むしろ結婚後に必要な現実感覚、責任感、相手を知ろうとする姿勢は強い。今はその強みを、関係が育つ前から使い切っている状態です。

うまくいっているサイン / 元に戻っているサイン

うまくいっている	元に戻っている
2回目でも結論を保留できる	一つの違和感で全体をNGにする
相手から質問が返ってくる	自分だけが確認項目を消化する
また会いたいを言葉にできる	相手の好意が確定するまで誘わない
違いを「どうする？」と話せる	一致していないこと自体を不安材料にする

前半は「人を知る」。後半で「生活を設計する」。
 この二段階に分けるだけで、航平さんの長所はかなり生きます。

5つの質問への答え

1 | なぜ2回目前後で止まりやすい？

相手を知る会話が、そのまま結婚可否の判定へつながりやすいからです。好意が強い相手には、火星-土星・海王星のブレーキが入り、自分から進める行動まで遅くなります。

2 | 条件確認と好きになる時間をどう両立する？

条件を減らすのではなく、確認時期を分けます。1〜2回目は「また知りたいか」、3〜5回目で主要条件、その後に生活の細部を詰める順番です。

3 | どんな女性と関係を作りやすい？

会話を返してくれる、意思表示がある、生活を現実的に話せる、違いを相談できる女性です。完全一致より調整力を重視してください。

4 | 好意を持つと慎重になりすぎる癖は？

確信を待たず、現在の意思だけを出します。「また会いたい」「もっと聞きたい」を言葉にする。相手の好意を証明させてから動く必要はありません。

5 | 今後2年で最優先することは？

2026年秋〜2027年春に進め方を再設計し、2027年は新しい会話・誘い方を実地で試す。2027年後半〜2028年は、広げすぎず育つ関係へ集中することです。

迷った時に戻る3つ

1. 2回目で結婚可否を決めない。
2. また会いたければ、相手の確信を待たず自分から明確に誘う。
3. 条件一致より、「違いを話し合える相手か」を見る。

航平さんに必要なのは、恋愛で考えないことはありません。
考える順番を変え、関係が育つ前に結論を出さないことです。

今回の算出根拠 | 西洋占星術・四柱推命

本文で実際に使用した計算事実を、追跡できる形でまとめます。

西洋占星術 | 主要配置

項目	計算結果
ASC	山羊座 10°44'53"
太陽	牡牛座 26°36'19" / 4 ハウス
月	天秤座 20°45'49" / 9 ハウス
水星	双子座 05°52'51" / 5 ハウス
金星	双子座 07°43'22" / 5 ハウス
火星	蟹座 11°21'43" / 7 ハウス
木星	双子座 13°14'50" / 5 ハウス
土星	山羊座 13°26'48" / 1 ハウス

本文で重視したアスペクト

組み合わせ	角距離 / Orb
水星-金星 コンジャンクション	1.842° / 1.842°
火星-海王星 オポジション	179.271° / 0.729°
火星-土星 オポジション	177.915° / 2.085°
火星-冥王星 トライン	122.069° / 2.069°
土星-冥王星 セクスタイル	60.016° / 0.016°

Orb 算出例

火星 101.361959° と海王星 282.091385° の最短角距離は 179.270573°。180°オポジションとの差は 0.729427°です。

四柱推命 | 確定値

年柱	月柱	日柱	時柱
己巳	己巳	丁丑	辛亥

判定フロー：日主 丁火 → 月令 巳（夏・主気 丙＝劫財）→ 季節からの支持あり → 日主同一干の通根は確認されず → 表に出た扶助は確認されず → 蔵干に独立した扶助あり → 表に出た食神・偏財による外向きの働きが強い → 総合判定は身強。

格局は普通格として未確定、用神も未評価です。本文では格局名・用神を補完していません。巳-亥の冲は年-時、月-時で検出されていますが、存在だけを吉凶へ変換していません。

APPENDIX 02

今回の算出根拠 | 姓名判断・MBTI・Timing

姓名判断 | 画数と五格

漢字	画数
三	3
浦	10
航	10
平	5

- 天格：3 + 10 = 13
- 人格：10 + 10 = 20
- 地格：10 + 5 = 15
- 外格：3 + 5 = 8
- 総格：3 + 10 + 10 + 5 = 28

81数理は、人格20「空虚・内省」、地格15「福德・繁栄」、外格8「勤勉・堅実」、総格28「別離・適応」を補助テーマとして参照。三才は火・水・土まで算出済みですが、総合吉凶は未評価のため使用していません。

MBTI

INTJ-Tは本人申告情報です。占術の独立した一票として加算せず、計算結果で出た判断・会話・行動パターンを日常場面へ翻訳する補助にだけ使用しています。

2年Timing | 本文で使った主なピーク

計算結果	計算上のピーク日
土星-火星 スクエア	2026年10月4日 / 2027年2月13日
土星-ASC スクエア	2026年10月11日 / 2027年2月6日
冥王星-水星 トライン	2027年2月19日 / 2027年8月2日
天王星-水星 コンジャンクション	2027年5月29日
天王星-金星 コンジャンクション	2027年7月1日 / 2027年12月5日 / 2028年4月19日
冥王星-金星 トライン	2028年2月27日 / 2028年7月25日
土星-ASC トライン	2028年7月28日 / 2028年9月17日
木星-水星 トライン	2028年9月21日

四柱Timing：大運 乙丑（2023年5月19日～2033年5月19日）。2026年 丙午・劫財、2027年 丁未・比肩、2028年 戊申・傷官。時期テーマは、自己決定から表現・改善へ移る流れとして本文へ反映しました。

最後に

航平さんの慎重さは、結婚後には大きな強みになり得ます。婚活では、その力を使う時期だけ後ろへずらす。そこが今回の一番大きな修正点です。